

# 普連土学園校友会報

平成30年2月15日  
第 99 号

普連土学園校友会発行  
東京都港区三田4-14-16 郵便番号 108-0073  
責任者 富山 恵子

電話 03-3451-7700  
F A X 03-3451-1959  
E-mail: friends@f-koyukai.com

## 創立記念礼拝「私と普連土学園」

普連土学園教頭 浜野能男

目次
クリスマス礼拝
バザー報告
山本先生追悼
学園祭
映画は好きですか?
同窓会・成人式
校友会ってなに?

今回、130周年という節目の大切な創立記念日に、礼拝を担当することとなり、あらためて普連土学園がどんな学校かと考えてみました。

アメリカには80ものフレンド派の学校があります。それらの学校が共通の目標としていることをまとめた短い文書があります。それは

- ・ 毎日の生活において探求し、思索し、行動することを通して学ぶこと
- ・ 困難を伴っても主張が異なる意見を尊重して、真理を探究すること
- ・ 諍いを、お互いに尊重し合い、意見に耳を傾けることによって解決すること

- ・ 私たちの社会における多様な文化・宗教の価値を認め、受け入れること
- ・ 積極的な奉仕の精神を身に付け、社



2017年9月28日(木)の礼拝

会に善をもたらず働きをすること  
人間の根本にある、善悪を判断する信念に従って、勇気をもって行動すること の6つです。

私が普連土学園の生徒でいつまでも覚えてるのは、例えば修学旅行で貸し切りの列車内を走り回ってはしゃいでいる生徒が、ずっと静かに本を読んでいる生徒に「食べる?」とお菓子を「自然に」渡した姿です。そこに、それぞれ違っていても自分らしく生きていて、しかしお互いにつながり、気遣っている普連土学園の生徒の原形を見るような思いがしたからかも知れません。

また、いつ見たのかも忘れてしまいましたが、誰もいない教室を、ただ一人で坦々と掃除をしていた生徒の姿も、与えられた仕事を目立たないことでも誠実に取り組む普連土学園の生徒の姿の象徴のようにいつまでも覚えていきます。

このようなあり方の根本は「全ての人に神の種、内なる光が存在する」また、「与えられた仕事に誠実に取

り組む」クエーカーの基本に則った教育によるものです。担当する生徒も教職員も、自らの深い心からのお話を、全体で共有していく礼拝は、学園の精神を形成するのに欠かせないものです。「困難を伴っても主張が異なる意見を尊重して真理を探究する」「互いに尊重し合い、意見に耳を傾けることによって諍いを解決する」というアメリカのフレンドズスクールの目標は、そのまま普連土学園に通じるものといえるでしょう。

それは、生徒、教職員がこの基本を大切に、誠実に一日一日を過ごす思いがなければ、失われてしまうものではないでしょう。

学園の理事であり、校友会会長であられた菊地勝子さんが、数年前の校友会総会後、校長であった私の手を取って「普連土学園をどうぞよろしくお願いします」とおっしゃったことがあります。とてもそんな自信がなかった私はとまどった覚えがありますが、今日、大切な創立記念礼拝でお話をさせていただき、自分自身は非力であっても、菊地さんを始め、学園を思う校友生、学園を支えてきて下さったかたの学園への思いを少しでも伝えられたなら幸に思いません。

## 校友会クリスマス礼拝

12月9日(土)

# 天使を見る眼

ルカによる福音書2章6～14節

普連土学園校長

青木 直人

人生はしばしば旅にたとえられま  
す。旅の比喩を使うことで、人生の  
意味をより深く味わえるようになる  
からなのでしょう。イエス・キリス  
トも旅人のようにこの世を訪い、  
人々と出会い、去って行かれました。

聖書は旅の比喩に満ちています。  
マタイ福音書で、新しい王の誕生を  
知り、やって来たのは占星術の学者  
たち。おそらくベルシャあたりのゾ  
ロアスター教の僧侶だった彼らは、  
ユダヤの王に会うために安定した日

常を捨て、旅人となった。ルカ福音  
書では羊飼いたちが救い主誕生を知  
らされます。砂漠で暮らすゆえに悪  
霊によって汚れているとみなされ、  
定住者からは当てにならない「旅人」  
と蔑まれた人々。彼らに示されたの  
は「飼い葉桶の中に寝ている乳飲み  
子」でした。ルカはこれを「しるし」  
といます。ここにキリストとして  
のイエスの全生涯が圧縮されている



からです。「飼い葉桶」があった場  
所は、郊外の丘陵部の斜面にある洞  
窟を利用した「家畜小屋」でした。  
つまり、たまたま宿屋がいつばいで

裏手にある「馬小屋」に泊めてもらっ  
たというような話ではないのです。  
それでは宿屋の主人のせめてもの善  
意が入り込んでしまう。そうではな  
くて、居場所のない夫婦は、町外れ  
の冷たい洞窟、お世辞にも清潔とは

いえない家畜小屋でイエスを生むこ  
とになったのです。そこは人間の温  
もりからは遠く隔たった場所。この  
世の片隅に追いやられ、不当に小さ  
くされた人々のところに自ら降りて  
いき、そこで恵みを等しく分かち合  
い、これこそが「神の国」だと宣言  
されたのがイエスです。その生涯を  
象徴的に表すために、幼子は飼い葉  
桶に寝かされました。

羊飼いたちにそのことを知らせた  
のは「主の天使」であり、「天の大軍」  
でした。彼らが見た天使とは何だっ  
たのでしょうか。「天の大軍」という言  
葉をヘブライ語のニュアンスまで遡  
ると、それは「天体」「星座」という  
意味をもつ言葉です。天使たちは砂  
漠の夜空に輝く無数の星だったのだ  
です。イエスとの出会いを通して神の  
愛のリアリティに触れた人々にとっ  
て、森羅万象はもはや偶然に存在す  
る無意味な現象ではなく、すべてが  
神の愛を伝える「しるし」となり「天  
の使い」となったのです。

そのような信仰の眼を持つて生き  
られたら、世界はどれほど美しく輝  
いて見えることでしょう。学園にか  
かりあるすべての者が、このよう  
な「天使を見る眼」を持つことので  
きるクリスマスでありますように。

## 親睦会

クリスマス礼拝には108名、引  
き続き行われた親睦会には107名  
が参加しました。初参加の方々の中  
にはお茶のお手伝いを引き受けた普  
連土精神が健在の方や、久しぶりの  
讚美歌をいつの間にか普連土時代に  
戻ってしつかり歌えて感激した方も。

ある方はルイザ先生との可愛いエピ  
ソードを話してくれました。彼女は  
中学校に入ったばかり、先生はアメ  
リカから赴任してきたばかり、二人  
は校舎の入口でばったり会い、いき  
なり先生に「職員室は何処ですか」  
と訊かれ、一生懸命答えたそうです。  
「全校生の中で先生と最初に話した生  
徒は私です」とちよつと誇らしげで

した。コー  
ラス部は  
第九をア  
レンジし  
た曲を軽  
快なハー  
モニーで  
会場を盛  
り上げま  
した。



2017年度バザー  
お手伝いに  
初参加してみよう

11月11日、後援会と共催のバザーが行われ、1074名のお客様が来場し、162名の校友生がお手伝いに参加しました。

今回のバザーでは、94回生の安倍弘子さんがポスターを作成し、当日は校舎の廊下に掲示されました。

今年初めて事前準備から参加した校友生に感想をお寄せ頂きました。



新旧の制服がデザインされたポスター

・卒業時、幹事の役を受けながらも、今まで校友会の活動に参加できずにおりましたが、この度初めてバザーのお手伝いをさせていただきます。何も分からない私に優しくご指導くださった先輩方、元氣な現役中高生の後輩、生徒当時にお世話になった先生方、懐かしい同級生等、沢山の方と会うことができました。中でも印象的だったのは、90歳になられる大先輩とお話させていただいたことです。凜とした素敵な佇まいを見習いたいと感じたひとときでした。短い時間でしたが、普連土学園の世代を超えたつながりを感じられた素敵な一日でした。

(93回生 田口啓子)

・普連土を卒業して30年が経ち、バザーのお手伝いに初めて参加しました。無人売店、木の机と椅子、クローゼット。あの時と変わらないう普連土を久しぶりに見て、楽しかった日々の記憶が一瞬にして蘇りました。校友会の方には丁寧に仕事内容を教えていただき、当時の先生・同級生とも再会でき、普連土の温かさを改めて感じた、素敵な一日を過ごすことができました。

(95回生 山口久美)

・きっかけは3月に行った97回生

のホームカミングで懐かしい顔ぶれと再会したからです。学生時代に国語を教えていただいた青木先生が校長先生として普連土に戻っていらっしやう、校章入りチョココレートを沢山買っていたきました。また懐かしい先生方、毎年のようにバザーに来てくれるという同窓生に会うこともできました。ガレットも相変わらずの人気でした。懐かしい校舎でも楽しい時間を過ごすことができました。来年は皆様もぜひ

2017年度バザー売上報告書

2018年1月20日  
単位：円

摘要	売上	仕入	収益
アクセサリ	161,105	0	161,105
委託	1,607,331	1,225,750	381,581
献品	252,105	0	252,105
手芸	523,620	20,352	503,268
合計	2,544,161	1,246,102	1,298,059

奉仕部

単位：円

社会福祉法人かがやき会就労センター街（クッキー）	20,000
特定非営利活動法人STORY（石鹸2種類）	17,780
社会福祉法人 東京都知的障害者育成会大田区立くすのき園（刺繍雑巾）	3,000
いきいき福祉ネットワークセンター（ビスコッティ・マフィン）	15,000
合計	55,780



東北・熊本支援コーナー

バザーにいらしてください。

(97回生 酒井由香)

## 山本信夫先生を悼む

財務理事 大津 光男



山本信夫先生が昨年11月6日永眠された。享年95歳。先生は北大在

学中植物学を専攻、札幌独立教会で宮部金吾の教えを受け新渡戸稲造に私淑、小平西高校校長を経て1981年理事となり翌年第10代校長に就任。中学の修学旅行を稲造の足跡を辿るべく東北にするなど、長い教職経験を活かされた。4年の任期を経て退任後、96年には第12代理事長となった。が、山形転居のため翌年辞任、98年まで評議員を務められた。母堂山本きみは21回生の熱心な友会徒で、自宅に下井草月会を創設。先生ご自身も夫人と共に友会徒となったが、下井草月会を閉じるに際し友会も離れた。

今頃は先立たれた最愛の夫と再会、母堂にも会って昔語りをされていよう。長女の恵子さんは40年前2年間教諭として在籍しておられる。

昨年の学園祭では「ふれんど種まきファンD」に寄付をした校友生を対象に、生徒さんの案内による「学園祭ツアー」が行われました。

「学園祭ツアー」参加者は、小雨降る10月20日朝10時に中学校舎応接室に集合しました。61回生から94回生まで9名です。

案内を担当してくれたのはいずれも高3の北明真奈さん、中谷夏巳さん、若泉朱莉さん。春に学園を卒業したら新校友生となる3名です。

高3生の案内でまずツアーが訪れたのは中学校舎3階の中1B教室。展示は「ある子とかず子の普連土LIFE」。普連土にある物の数、日常のあるあるを調査した展示です。学園の歴史など校友生のツアー参加者たちも「へー」と驚くことばかり。

今回の学園祭ではスタンプラリーを実施していました。各展示会場でクイズに答えて台紙にスタンプを押して貰います。早速この最初の「ある子とかず子」の教室で一つ目のスタンプをゲット！平均年齢約70歳の校友生たちもニコニコです。

その後、ツアーは中学校舎の教室をいくつか回り、渡り廊下を通じて本校舎へ。渡り廊下を通るだけでも

## 学園祭ツアー



「こんな廊下が出来るなんて！」と感慨深げ。

本校舎1階では、手話部の展示を見て、校歌を手話で披露する生徒さんたちと一緒に歌って大満足。

「ふれんど（どう）」という展示は普連土学園についての展示です。この会場でのスタンプラリーのクイズは「ホームルーム礼拝は何曜日にかれるでしょうか？」でした。出版委員はちゃんと曜日を覚えていましたよ。昔と変わらない曜日なのでね。（答えは記事の最後にあります。）

ツアーの道中は、案内の生徒さんたち、展示室の生徒さんたちとの会話も楽しめました。普段校友会の催しにだけ参加していても現役生と触れ合う機会はありませんが、学園祭は生徒さんたちが主役です。

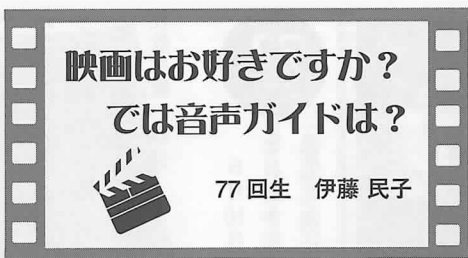
校友生はいつでも学園祭を見学できます。いつも校友会総会やバザー、校友会クリスマス礼拝には行くけれど、学園祭へは行ったことがなかったという皆様、ぜひ次の学園祭に足を運んでみませんか？普連土らしさ溢れる学園祭、きっと楽しめることでしょう。

（渡邊美羽記）

（日曜半…と夜のトイレ）

映画はよくご覧になるほうですか？それほどでもないでしょうか？どなたにも「映画」に関するいくつかの思いがあることでしょうか。

わたくしが普連土の生徒だった頃は、団体鑑賞がありました。土曜の午前中、映画館前に集合し、先生に引率されて映画を観るのです。解散後は、お友達のお母さまに付き添っ



ていただいて、フルーツパーラーで幼い感想を述べ合ったことなどが懐かしく思い出されます。

身近で手ごころな娯楽です。劇場に足を運べば、ロビーの特大ポスター、ポップコーンの匂い、開場を待つ人々のざわめきに、非日常を実感します。自宅とは違うスピーカーで、映画の醍醐味を味わえます。劇場に行かなくても、さまざまなレンタル手段や契約放送が普及し、地上波な

らは無料で楽しめます。

このような映画が、数はまだ少ないのですが、バリアフリーで鑑賞可能になっていくことをご存知でしたか？たとえば、視覚障がい、またはものが見えにくい人のためには「音声ガイド」が開発されています。「音声ガイド」といっても、美術館や博物館で聞くものとは内容が少し違います。映画の「音声ガイド」は視覚情報をナレーションに代え、セリフや効果音の間の適当なタイミングで聞こえるようにしたものです。この「音声ガイド」は手持ちのスマートフォンなどのイヤフォンで聞きます。映画公開とほぼ同時に、全国の劇場で楽しむことが可能(※)です。劇場の設備は不要で、一般のかたも同じ方法で聞くことができます。公開終了後は、DVDやブルーレイに納められてレンタル・販売されていますので、家庭でも楽しめます。

「映画(映像)のバリアフリー」化の活動に携わって、17年ほどたちました。しかし、「音声ガイド」の社会的認知はまだ低く、ごく一部の関心のあるかたにしか知られていません。今後、より多くのかたが手軽に

楽しめるよう、これからも活動を継続してゆければ、と考えています。映画が誰にとっても、身近で手ごころな娯楽でありますように。

※劇場で楽しむには、事前に無料の専用アプリをスマートフォンなどの端末にダウンロードした後、作品ごとの音声ガイドをセットしておく必要があります。



モニター会のような様子

「音声ガイド」制作に「モニター会」は不可欠です。映画制作サイドからプロデューサーや監督が出席し、わかりやすさ、正確さ、などを確認します。



130周年 記念コンサート

昨年9月29日に後援会主催の普連土学園創立130周年記念コンサートが開かれました。チケットが発売まもなく売り切れる人気で、当日は保護者と400名を超す校友生で講堂は満員でした。

106回生の三ツ橋敬子さん指揮・東京フィルハーモニー交響楽団による「フィガロの結婚」「イタリヤ」などの演奏と魅力あふれるトークを楽しみ、最後に三ツ橋さんからの贈物としてオーケストラに編曲された校歌の演奏をバックに全員で校歌斉唱。大拍手とともに閉会しました。

同窓生との久しぶりの再会を喜び、美しい音楽に酔いつつ学園の創立記念日を心から祝いました。





72 回生 中学校舎前にて

72 回生

6月10日、江刺先生をお招きして20名の同級生と共に、古希を祝

「喜寿を祝う最後のクラス会」  
昨秋10月7日、校友会室で第44回のクラス会が開かれ、25名出席。手作りのマットの上には、菊乃井の松花堂弁当、70回生島田さん手作りのチーズケーキ、四日市から出席の水田さん差し入れの「赤福」が。食前歌「そなえたまいし」を歌い、歓談しながらご馳走に舌鼓。あつという間の2時間。お別れの時が。ここに出席出来た事に感謝しつつ、校歌を歌い散会。(橋本紀子)

66 回生

ラス会

### 同窓会をひらきました

学校で開かれた同窓会の紹介です

94 回生

約25年ぶりの同窓会におおど

さん健康や介護・諸事情があり、今回でクラス会を閉会とすることにしました。また、機会があつたらお会いしましょう。(渋谷美智子)

美歌の伴奏が流れ、知らない曲かも?と思つたのも束の間、何故か歌えている自分に驚きつつ周りを見ると皆も歌っています。卒業して30年という節目の年に開催されたまるで礼拝のような同窓会。それぞれの30年に形づくられた皆の顔を見ながら、その芯の部分に同じ月日がある

しながら、私達の頃にはなかつた音楽室へ。久々の再会に文字通り狂喜乱舞の様相の中、沈黙が開始の合図。讃

うクラス会を開催。始めに新しい学園を見学。静黙室や屋上、教室等を見学。校友会室にて礼拝、江刺先生のお話をうかがった後、川上(旧丸山)さんの歌声に酔いしれました。会食をしながら、近況報告を全員にさせていただきました。その中で、皆



94 回生 皆で讃美歌を

ことを強く感じた時間でした。出席下さった浜野先生と太田先生に心より感謝申し上げます。(清水要子)

◆学校での同窓会の開き方  
校内で同窓会を開くことができます。  
費用は月々金曜日かひとり300円、土曜日はひとり500円かかります。また、土曜日は最少受付人数20名です。公の行事が優先となりますので詳細につきましては、校友会事務所までお問い合わせください。(校友会事務所の連絡先は表紙上部に記載されています)

123 回生  
成人を  
祝う会

今年も1月8日にウエスティンホテル東京にて成人を祝う会が開催されました。

今回は110人を超える同級生が参加してくれました。



卒業以来初めて会う友人も多い中で、皆の変わらぬ人柄や温かさ、に安心しつつ、より美しく華やかになった姿に感嘆いたしました。またご参加くださった先生方の話は懐かしい一方、新しく心に響くこともあり。大きな節目となつたこの日を忘れずに、責任と義務を果たす大人でありたいと思いません。(林千弘)

普連土たより 学校近況

百七十信

今年度より青木直人新校長を迎え、学園は順調に運営されておりま  
す。これも校友生の皆様のご支援の  
おかげと、深くお礼申し上げます。

例年、秋には多方面で活躍する校  
友生が、全校礼拝をご担当下さり、  
本年度は11月14日に英語、ドイツ語  
の能力を活かしてご活躍の94回生渡  
邊美羽さん、21日に弁護士100回生  
南川麻由子さん、28日に作曲家、ピ  
アニストの97回生生田美子さんにお  
話をいただきました。それぞれ、普  
連土在校中に自らの糧となったこ  
と、また進路をどのように考えるか  
について、大変参考となる、貴重な  
お話を伺いました。

近年、女子の理科系進学率が高  
まっておりますが、本校では、大学  
進学者の4割近くが理系、また本年  
度高3生は半数が理系進学志望で  
す。とりわけ学校で理系進学の方  
向に指導しているということはありません  
が、文系理系を問わず、実験を  
重視し、細かい生徒への指導を行う  
ことを通じて、理系の学問に興味を  
持つ生徒も少なからずいるよう  
です。

Legoを使ってコンピュータの口

ボットを作成、操作する世界規模の  
競技会「lego League」に、日本代表  
の9チームに、普連土学園チームが  
選抜され、5月にデンマークで行わ  
れた世界大会に出場しました。理系  
での活発な成果を象徴するものでし  
た。

国際交流では、今年度高一にアメ  
リカウイスコンシン州からウイロ  
ビー・ソフィアさん、インドネシア  
からフィラツ・シーファーさんが留  
学生として在籍し、それぞれの地理、  
宗教について授業でプレゼンテー  
ションを行い、学園祭でも発表し、  
活発に生徒と交流を持つなど、相互  
の文化を学ぶ貴重な機会を得ること  
ができました。

理系の発展的学習、国際交流など  
様々な面での活動をさらに活発に行  
い、教育の充実を図りたいと思いま  
す。今後ともご支援よろしくお願  
いいたします。

12月になり、講堂にはクリスマス  
ツリーが飾られました。学園では例  
年通り、クリスマス献金やプレゼン  
トを集め、5日間の特別礼拝をおこ  
ない、22日にクリスマス礼拝を迎え  
ます。  
(浜野能男先生記)

八十歳になりました

傘寿を迎えられた62回生の方々に、  
浦口先生が描かれた絵葉書セットを  
お祝いにお贈りしました。何人かの  
方々からお礼と昔を懐かしむお便り  
をいただきました。お礼のお手紙の  
一節をご紹介します。

▼きょう、思わぬ素敵な絵葉書のプ  
レゼントが届き大変うれしゅうござ  
います。

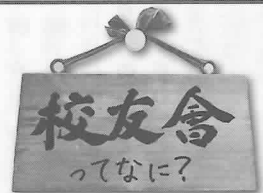
▼絵葉書集お送りくださいますあ  
りがとうございました。大事に使わ  
せていただきます。

▼浦口先生の絵を拝見してました  
らマタイ伝6章「野の百合はいかに  
して育つかと思え勞せず紡がざるな  
り」の言葉が浮かんでまいりました  
▼拝啓 前略お許しくださいます。  
この度は傘寿のお祝いを御恵送頂き  
有難く心より御礼申し上げます。

浦口先生の懐かしい野の花の絵葉書  
で四十五・六年前の山中湖寮でのク  
ラス会を思い出しました。

◆お便りを下さった方々(敬称略)

- 石井寿美子 北山清子 小島京子
- 桜井利枝 柴田田鶴子 武田栄子
- 中荏暢代 深澤照子 結城富美子
- 吉沢洋子 吉田寿美子



幹事と幹事会  
各回生の代表

として選ばれた  
幹事と専任幹事  
は幹事会を構成  
し校友会を運営  
します。幹事会  
は校友生の交流  
を深め学園の発展を援助することを  
目的に色々な年間行事を企画し、運  
営します。

多岐にわたる活動を円滑に進める  
ため幹事及び校友生の中から役員を  
選び役員会を設けます。活動の一つ  
に幹事会の定例会議を月1回開催す  
る他、各種行事を企画・運営するた  
め委員会を置きます。指名委員会は  
役員を出します。出版委員会は会報  
を発行し、事業委員会はイベント等  
を開催し  
ます。その他  
バザー委員  
会、又必要  
に応じ委員  
会が置かれ  
ます。  
ただ今、  
幹事大募集  
していま  
す。いつで  
も誰でもな  
れますよ！



月1回土曜日の幹事会

このページの内容についてのお問い合わせは、校友会事務局（03-3451-7700）まで。

# 校友会だより

## ◆校友会総会のお知らせ

2018年度の校友会総会を左記の要領で開催します。

日時 6月2日(土) 11時～  
会場 普連土学園新渡戸稲造ホール / ローズホール

第一部は礼拝と校長先生の学校報告の後、事務会を行います。事務会の主な議題は2017年度の年次報告と決算、2018年度の年次計画案と予算案です。事務会後の催し物は伊藤文枝先生(66回生)の独唱と校友会コーラス部による演奏です。第二部はローズホールで昼食、歓談とコーラス、校歌で閉会します。

## ◆ホームカミングデーのお知らせ

大好評のホームカミングデー。第4回を左記のように開催します。  
対象回生 98・103・108回生  
開催日 3月3日(土)  
11時～16時

会場 ローズホール  
今年のホームカミングも楽しい企画が盛り沢山です。是非多くの方の参加をお待ちしております。

## ◆2017年度分校友会運営費

本年度分のお支払いがまだで払込伝票がお手元のない方は郵便局にある払込取扱票をご利用ください。

口座記号 00110・8  
口座番号 87932

(左詰めで記入)

金額 2500円

加入者名 普連土学園校友会

通信欄に必ず回生とお名前、ご住所をお書き添えの上お振込み下さい。

## ◆事業委員会よりお知らせ

語りの公演会 ― 話芸写



上月 麻未(こうづきまみ) 伊藤 眞弓さん 90回生

日時 2月24日(土)

13時開場 / 13時30分開演

演目 「ちっちゃなかみさん」

平岩弓枝 作

於 普連土学園A音楽室

※事前申し込み不要 / 入場無料 / 上履きをご持参ください。

「話芸写」とは、「語り」を通して、言葉と声の表現の世界を追究する集団です。

## ◆130周年記念グッズ委員会より

3年前から委員会を立ち上げて記念品を作り、販売してきました。

\*金、銀の校章ペンダントトップ

\*校章入りタオルハンカチ

\*パイロットシャープペン

\*校舎デザインクリアファイル

在校生・教員等の皆様、三ツ橋敬子さんと楽団員の皆様、ホバートからの留学生の皆様に記念品としてクリアファイルを校友会より贈呈いたしました。収益は、すべて学校への寄付にいたします。なお記念グッズの販売は3月末で終了いたします。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。(委員長 寺山由美子)

## ◆運営費納入者芳名簿の追加

「会報」98号に同封しました「運営費納入者芳名簿」にお名前もれがありました。お詫びしてここに記載いたします。

平成28年度(2016年度)運営費

54回生 舟橋 富士子

68	新津	香苗(宮嶋)	17	6	30
64	宮川	俊子(神山)	17	10	28
64	間瀬	裕子(小林)	17	5	
63	稲浜	馨(白井)	17	7	
62	本田	喜美子	15	6	
61	岡崎	美代子(後藤)	17	9	19
59	島村	絢子	16		
56	B山崎	文枝(山田)	15		
53	安藤	節子(兼坂)	17	7	23
52	B小田	玲子(吉田)	17	7	
52	A長谷川	久子(館本)	17	8	20
51	塩田	照子(堀田)	17	11	8
51	吉川	弥寿子(月本)	17	6	18
50	松波	壽子	17	8	26
50	島田	君子(島田)	17	8	8
48	鈴木	節子(石川)	17	6	27
45	秋元	愛子	17	5	16
43	山田	トモ子(斉藤)	16	3	
42	滑川	圭(田中)	16	7	22
42	旧職山本	信夫	17	11	6

謹んでお知らせ申し上げます、心より哀悼の意を表します。

## 訃報

編集後記 戦前の校友会誌・戦後の葉書通信のち昭和42年から今の形式で会報を発行し、学園の様子・校友会の活動報告・恩師や校友生の活躍ぶりや消息をお伝えしてきました。出版委員は100号にむけこの役割を果たしたいと頑張っております。今回の会報もお楽しみいただけましたか?意見・ご感想をお聞かせください。(千田・入江・鈴木・森本・渡邊・熊井・白井・川上)